

# ふるさと

TAKUSUI

5

2005年 May

No.583



ourhour フリースペース  
アワ・アワ

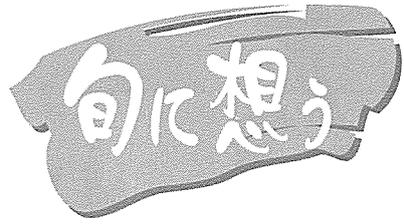
<JF兵庫信漁連>

「もっと知ってネ! JFマリンバンク」運動

うちの漁協! JF佐野

# CONTENTS

- 2 旬に想う  
六日の菖蒲  
表紙の言葉
- 3 フリースペース our hour  
「もっと知ってネ! JFマリンバンク」運動
- 4 News  
兵庫県住宅再建共済制度が9月からスタートします
- 5 REPORT  
第7回 漁業者の森づくり開催
- 6 兵庫JCC通信
- 7 行事予定  
農林水産部農林水産局水産課配席図
- 8 うちの漁協



写真と文 遊方子



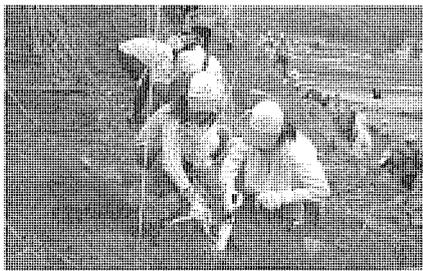
## 六日の菖蒲

◆梅雨期は、雨の日が続いて鬱陶しいが、それを救うように咲くのがハナシヨウブ(花菖蒲)である。アヤメ科の宿根草。雨に濡れながら咲く姿に、日本的な情緒が漂う。日本各地に自生する野ハナシヨウブを改良した。我が国の誇るべき園芸植物といえる。花菖蒲には江戸・伊勢・肥後の三つの系統がある。江戸系は、大都会の嗜好に合わせて品種が多形でイキな感じがする。伊勢系は女性的な雰囲気を持ち、肥後系は花が大きく力強さがある。三者三様に美を競って、何れも捨て難い。数年前、菖蒲園で伊勢系の《紫式部》を求めた。淡い紫色を随分長く楽しんだが、惜しいことにスライムシに食われて今は無い。

◆須磨離宮公園や山崎菖蒲園では、多彩な品種を揃えて花時は大勢の人で賑わう。しかし、花の鑑賞には喧嘩さほそれほど邪魔にならない。明石近郊、旧国道に沿う田の一角では、花菖蒲が緑の田圃に彩りを添えて目を引いている。花菖蒲は水気の多い所がよく育つと、独り合点していたが、花立ちを良くするには日当りの良い畑地が最適だという事だ。端午の節句に使うシヨウブは、サトイモ科シヨウブ属のもので、アヤメとも呼ばれるが、ハナアヤメとは縁遠い草である。アヤメ科に同じような葉を持つハナアヤメがあり、何時の頃から此れが単にアヤメと呼ばれて、シヨウブは母屋を取られた形になった。五月の節供にハナアヤメを飾るのは、こうした混乱から生じた錯誤なのである。

◆昔、中国の屈原という人が楚の国の政治の乱れを憂い、五月五日に長江の刑楚(けいそ)という所で投身して亡くなった。民衆は大いに同情し、この日に食べ物を供えて祀った。

## 表紙の言葉



### 未来の豊かな海を祈って!

遠くからコウノトリが見守る中  
明日の豊かな海を夢見て  
一本、一本心をこめて植えました。  
「大きくなった木の下でお弁当食べたいなあ。」  
「そうやなあ、その頃にはもっと魚がとれるようになってるわ。」

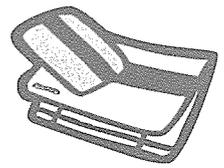
JF兵庫漁連(指導部)

だが龍が現われ供物を食べてしまったため、龍が嫌うという香り高いシヨウブやヨモギ・センダンを括り付けて追い払った。この古俗が日本に入り「端午の節供」となった。男児の祝祭日だが、本来は女の節供ともいえる日だったことは案外知られていない。田の神祭りの習俗で、神聖な田植えを控え、田の神へ奉仕する早乙女らが、五月五日に《女の家》へ籠もって生活をしたのである。それが何時どんな経路で男の節供になったのかは判らない。子供の頃、シヨウブとヨモギとセンダンの葉を束ねて軒にさした。祖母は魔避けの風習だよと言った。銭湯の湯船にシヨウブの束が入り、普段と異なる匂いが漂っていた。そんな伝承も過去のものになろうとしている。

◆九月九日を菊重の節句と称し、菊酒を飲んで延命を祈る習慣だった。そこから《六日の菖蒲/十日の菊》という言葉が生まれた。どちらも一日違いで役立たぬという意味だが、節句行事が忘れられ《六日の菖蒲》も《十日の菊》も死語に近い。類義語に「火事跡の火の用心」とか「喧嘩過ぎての棒乳切り」がある。棒乳切りは、人の胸ほどの長さで切った棍棒で、喧嘩には手頃な道具だが、騒ぎが終わってからは役立たない。

《手遅れ》で思い当たるのは地球上からの緑の減少である。開発や樹木の乱伐で、山の緑が消えており、兵庫県でも都市近辺の山を見上げると、住宅が山なりの形になっている。住宅になつた分の緑が無くなった勘定だ。環境汚染が叫ばれ、地球温暖化も問題提起されている。ゴミの溢れにも歯止めをかけねばならない。地球に優しく暮らすことで、身近なことから率先してやるべきである。「六日の菖蒲」にならぬように!..

# 「もっと知ってね」JFマリンバンク「運動」



Ⅰ JFマリンバンク兵庫は、漁業者及び会員の安全・安心な貯金の預入先であること、また、漁業者及び会員が必要とする資金について低利で安定的に供給することが最大の役割であると考えています。

平成17年度については、その役割を全うするための手段として信用事業統合後初の全県統一運動を実施いたします。

## Ⅲ キャンペーン名

「もっと知ってね JFマリンバンク」運動

## Ⅳ 方法

- ① JFマリンバンク役員一丸となった全県運動として取組みます。
- ② 会員及び系統諸団体等より一層のご協力を仰ぎます。
- ③ 女性部との連携を強化いたします。

## Ⅴ 期間

① 平成17年4月1日～平成18年3月31日

## Ⅵ 推進内容

- ① JFマリンバンクに対する理解の浸透。
  - ↓ 講演会の実施
  - ↓ 系統団体が主催する各種催しへの積極参加
- ② 資金量の増大
  - ↓ 窓口での恒常的推進
  - ↓ アイデアを凝らした貯蓄商品の作成
- ③ 融資拡大
  - ↓ 漁期開始時 特別運転資金の推進
  - ↓ 優良取引先紹介制度の策定

## Ⅶ 具体的実施事項

### 1 全県キャンペーン

- ① 特別推進イベントの開催
- ② クレジットカード等推進
- ③ 年金受給口座獲得
- ④ 漁期開始時の運転(仕込)資金推進
- ⑤ 優良取引先紹介キャンペーン実施

### 2 貯蓄推進キャンペーン

- ① 記念品付き定期貯金
- ② 懸賞品付き定期貯金
- ③ 金利優遇定期貯金
- ④ 旅行積金

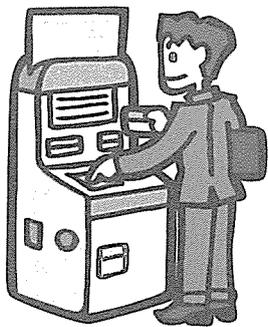


## Ⅰ 目的

- 本キャンペーンの目的は、次のとおりです。
- ① マリンバンクに対する理解の浸透
- ② 資金量の増大
- ③ 融資拡大

## Ⅱ キーワード

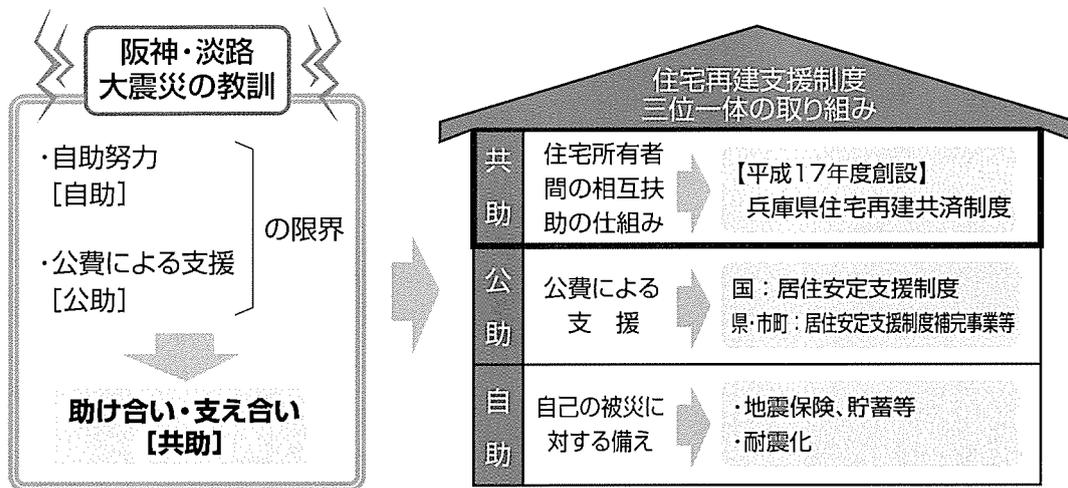
- ◆ 私たちのJFマリンバンク
- ◆ JFマリンバンクは安全＆安心



## 兵庫県住宅再建共済制度が9月からスタートします

**1** 震災の教訓を踏まえ、県が全国に先駆けて創設した住宅再建共済制度が9月からスタートします。

この制度は、震災の教訓を踏まえ、貯蓄や地震保険等への加入による「自助」や公的支援による「公助」の限界を埋めるものとして、住宅所有者が助け合いの精神に基づき拠出した負担金により、住宅再建を支援する「共助」の仕組みです。



**2** 具体的には、平常時に年5,000円（初年度は月額500円）を負担することで、あらゆる自然災害を対象として、住宅が半壊以上の被害を受けた場合に、再建・購入時は600万円、補修時は、被害の程度に応じて、50万円～200万円、再建も補修もしない場合は10万円を給付します。

加入手続きは、7月から県民局や市町の窓口を設置される加入申込書に記入のうえ、(財)県住宅再建共済基金に郵送で申込みます。

保険とは異なるため、既存の地震保険等と組み合わせて加入することも可能です。いざという時のわが家の安全・安心のため、加入を検討されてはいかがでしょうか。

**負担と給付**

（半壊以上の被害を受けた場合）

**共済負担金**  
5,000円/年  
（ただし新規加入年度は500円/月）

**共済給付金**

- ★再建・購入の場合－600万円
- ★補修の場合
  - ・全壊 ————— 200万円
  - ・大規模半壊 — 100万円
  - ・半壊 ————— 50万円
- ★再建・購入・補修をしない場合－10万円



### 県住宅防災課

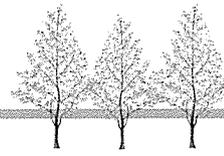
TEL (078)362-4338 <http://web.pref.hyogo.jp/jutakukyosai/>

### (財)県住宅再建共済基金

TEL(078)362-9400

# 第7回 漁業者の森づくり開催

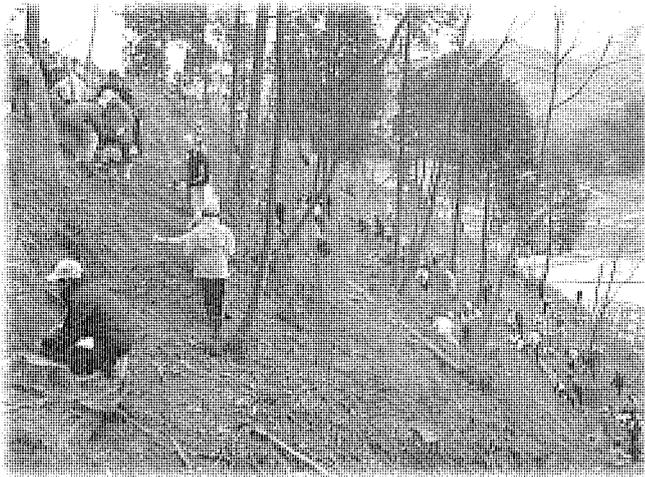
平成17年  
4月23日(土)



去る、4月23日(土)「第7回『漁業者の森づくり』が豊岡市の「ワノトリの郷公園」にて行われました。本事業は平成11年度よりJF兵庫漁連、兵庫県漁青連、兵庫県女性連の3団体共催で行われているもので、今年で第7回を迎えました。

当日は、天気にも恵まれ、地元JF組合長をはじめ、県下JFやJFグループ兵庫の役職員並びに漁協青壮年部・女性部員、地元小学生・父兄、等約250人という大勢の参加者が全員、土の付いた手で額の汗を拭いながら350本の苗木を植樹しました。

今後も「豊かな森が豊かな海を育てる」ことを願い、次代に魚で溢れる海を引き継ぐことができるよう、本事業を続けていく予定としております。



## ※「漁業者の森づくり」

豊かな森林に降った雨が大地にしみ込み、河川水となる過程において、窒素、リンをはじめ腐葉から分解生成されるキレート成分(フルボ酸等)と植物の光合成に必要な鉄分等が結合され、フルボ酸鉄等を多量に含む栄養豊富な水に変化し、この水が海に注ぎ込むことで魚介類の餌となるプランクトンや海藻類を育み、豊かな漁場づくりにつながるといふ点に着目し、この森林の持つ重要な役割を十分に機能させるため、漁業者が自らの手で山に植樹を行い「豊かな森は豊かな海を育てる」森は海の恋人」を合い言葉に全国的に広がった活動である。



## JA兵庫みらい山田錦米パン工房が 新たな取り組み

酒米「山田錦」の粉を使ってパンを作っている「JA兵庫みらいサンパティオおの山田錦米パン工房」では、新商品の取り組みを行っている。試行錯誤を重ね、昨秋に山田錦米シュークリーム(100%米粉)が完成。今年に入って、2月1日から洋菓子フェアを行っている。店内には酒米を使ったパン特有のモチっとした食感のものだけでなく、フェア期間中のオリジナル洋菓子がずらり。中でも、目玉商品はビターチョコレートケーキ。大人の味を深く追求したガトー・ショコラで、山田錦米粉はもちろん、フランス産のクーベルチュールチョコやオランダ産のココア等を使っている。寺若和則店長は「このケーキは甘さも濃厚で、しっとりとした口当たりが魅力。一度食べたらやみつきになるはずですよ」と話す。そのほか、昨年



新商品で登場し、爆発的にヒットした期間限定商品「桜あんぱん」

(1個180円)の販売もしている。4月6日から12日まで大丸神戸店での催事「ふるさと兵庫の第4回味と技の夜市」にも出品した。



米粉100%使用のケーキは、ただ今試作中

サンパティオおの山田錦パン工房  
ひまわりの丘公園内(小野市浄谷町)  
営業時間：10時～17時 水曜定休  
電話(0794)64-8170

## 2004年度 役職員研修会を開催

3月28日  
(月)兵庫県  
民会館にお  
いて、2004  
年度役職員  
研修会を開  
催し、13会  
員生協、35



小松泰信氏

名が参加しました。今回は、講師に岡山大学農学部教授・農学博士の小松泰信氏をお招きし、基調講演として『今、求められる協同組合役職員像とは何か?—協同組合の組織改革・人材育成についての問題提起—』をテーマにご講演いただきました。

講演では、協同組合の定義である「協同組合原則」、組合員とは何か、から掘り起こし、「伸びる組織と伸びない(伸び悩む)組織の違い」とは何か。①ヒト、モノ、カネ、情報が活発に出入りする、②努力が報われる、③自己実現の可能性が高い、④学習する組織の大切さが強調された。とりわけ、協同組合運動が教育・学習運動につきることを、自らの農協運動の現場体験や、豊富な事例を参考に話をすすめられました。

また、今後の協同組合の経営戦略について、基本とすべき考え方にふれられ、「負けない(勝たなくてもいい)組織づくり」、「魂のこもった事業計画づくり」、「店舗=サービスの最前線としてファースト・ワンマイルとラスト・ワンマイルを敏感にキャッチする能力の必要性」、「自らが利用したくなる協同組合像を愚直にめざすことの必要性」、などを問題提起されました。

最後に、参加した役職員へ「今日のあなたのライバルは?」と問いかけ、それは「昨日のあなたです。」と、変化の時代のなかで、常に自己革新をし続けていかなければならないことを強調され講演は終了しました。



行事予定 <変更になる場合があります>

JF兵庫漁連	
5月 17日(火)	10:00~ 監事監査・監事会(県漁連会議室)
19日(木)	13:30~ JF組織強化委員会(中会議室)

JF兵庫信漁連	
5月 13日(金)	監事監査・監事会 (信漁連会議室)
19日(木)	10:00~ 監事会 14:00~ 金融広報委員会総会
20日(金)	JFマリンバンク支援協会理事会
23日(月)	13:00~ 理事会(中会議室)
27日(金)	14:00~ 金融広報委員会

JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連	
5月 12日(木)	13:30~ 全漁連ブロック会議(大阪)

JFぎょさい兵庫	
5月 11日(水)	13:30~ 監査会(共済組合会議室)
19日(木)	10:00~ 「新ぎょさい総加入運動21」 推進協議会(中会議室)
24日(火)	11:00~ 正副組合長会議(共済組合会議室) 13:00~ 理事会(中会議室)

JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連・JFぎょさい兵庫	
5月 26日(木)	13:00~ 理事会 3団体共通理事会(中会議室)

JF共水連兵庫	
5月 16日(月)	経営企画会議 (コープビル)
20日(金)	共水連理事会(コープビル)

基金協会	
5月 16日(月)	13:00~ 理事会(中会議室)
6月 2日(木)	中央会理事会 (東京)
22日(水)	中央会通常総会(東京)

内海漁保	
5月 27日(金)	13:30~ 通常総代会(ペアール神戸)
7月5日(火) ~6日(水)	10:30~ 漁船保険事務研修会(有馬)
7月28日(木) ~29日(金)	役員・総代研修会・ 海上安全祈願祭

但馬漁保	
5月11日(水) ~13日(金)	PB保険担当者勉強会(東京)
12日(木)	13:30~ 通常総代会(JF香住町)
20日(金)	作動油検査の打合せ (但馬漁業センター)

内海漁保・但馬漁保	
6月 28日(火)	漁船保険中央会通常総会 (東京)

漁港協会	
5月 25日(水)	16:00~ 全国漁港漁場協会 第62回通常総代会(第一ホテル東京)

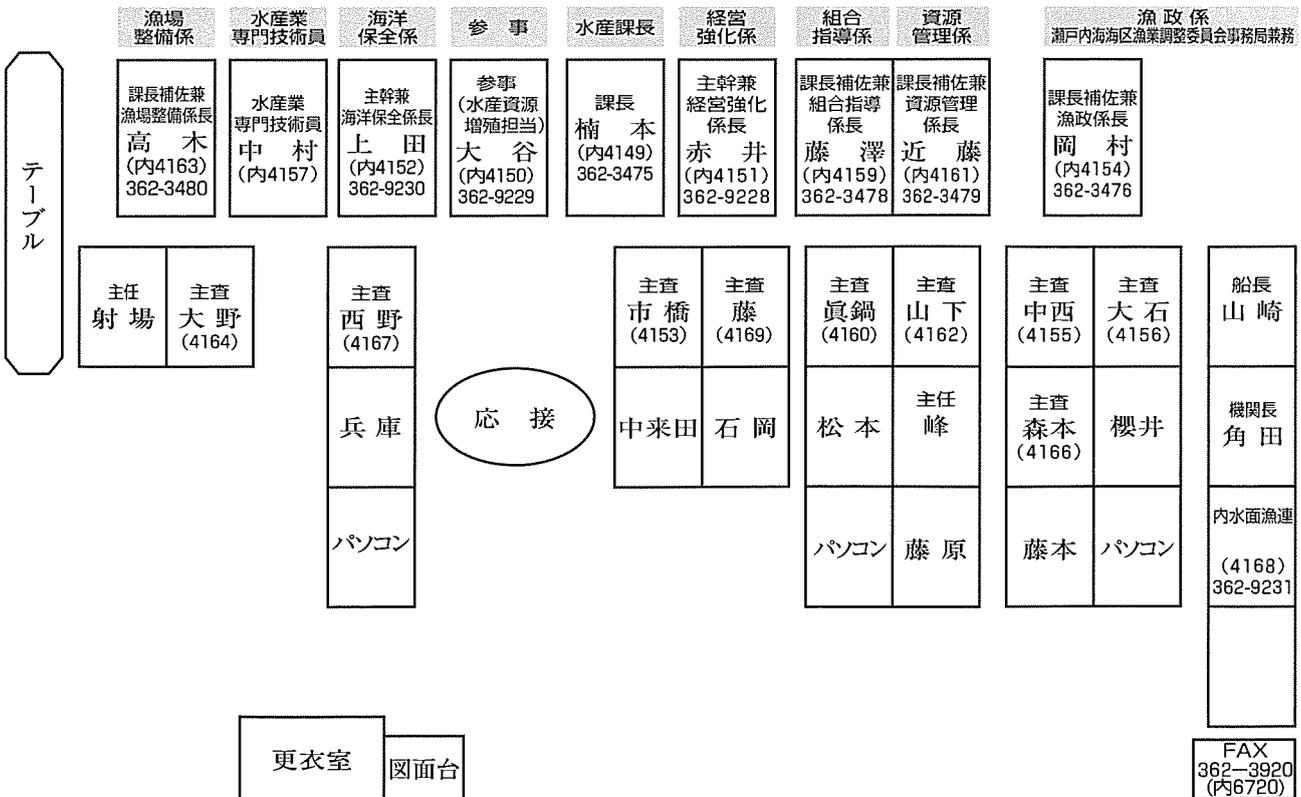
ひょうご豊かな海づくり協会	
5月 25日(水)	13:30~ 理事会・評議員会(大会議室)

振興基金	
5月 25日(水)	15:00~ 理事会(中会議室) 16:30~ 理事会・評議員会(大会議室)

兵庫県	
5月 13日(金)	13:00~ 但馬海区漁調委(但馬漁業センター)
17日(火)	10:30~ 常任委員会
18日(水)	14:00~ 水産施策説明会(ラッセホール)
20日(金)	13:30~ 水産・漁港担当課長会議 (中労センター)
30日(月)~ 6月3日(金)	会計検査

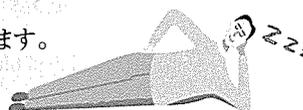
その他	
5月 11日(水)	10:30~ 瀬戸内海環境保全連絡会理事会
17日(火)	淡路水交会 11:00~ 監事会 13:30~ 理事会 (淡路水産センター)
25日(水)	10:00~ 兵庫県瀬戸内海環境保全 連絡協議会総会(神戸市教育会館) 15:00~ 兵庫JCC幹事会

## 農林水産部農林水産局水産課配席図



### 編集後記

皆さんはゴールデンウィークいかが過ごされましたか?  
 今年は、最大10連休という方もいらっしゃるかと思います。  
 それぞれ連休を満喫されたことと思います。  
 小生はカレンダー通りの休みで家でゴロゴロ……。  
 また成長してしまいました。



漁協は大きな家族です!

# 伝統のチームワークで 未来の漁業へ向けた取り組みを

## ウチの 漁協!

No.25

### JF佐野

組合員のうち約95%が船曳き網漁を専門としている佐野漁業協同組合では、今年も3月7日の漁解禁を受けて「イカナゴ漁」がスタートしました。このイカナゴ漁が3月末ぐらいまで続き、5月のゴールデンウィーク明け頃からシラス漁へ移行するというのが、佐野漁業協同組合の毎年のスケジュールとなっています。解禁日は、イカナゴが平均3.5センチ程度になる頃を目安に、近隣の漁協の代表者が話し合い決めていきます。これは、乱獲を防ぎ、一番いい状態でイカナゴを水揚げするために6年ほど前から続けられています。水揚げされたイカナゴは、港ですぐさま佐野・釜口・生穂・塩田の4漁協による協同入札が行なわれ落札された後、私たちの食卓へと届けられることとなります。

操業しやすく水揚げがよいという理由で、昭和40年代から船曳き網漁を始めた佐野漁業協同組合ですが、船曳きの歴史は、時代の流れに伴う環境の変化の中で、安全かつ新鮮な海の幸を供給するために努力を重ねた歴史でもあります。船曳き網漁を始めた頃は、イカナゴ漁、シラス漁ともに今よりも随分長い期間、漁を行うことができました。ところが、近年はだんだん出漁期間が短くなる傾向にあります。これは、1隻の船が錨を下ろして行う「こませ網」から、2隻の船で網を引っ張る「2双曳き」へと漁法が変わったうえに、魚群探知機が備わるなど船の性能が向上したことから、大量の魚を早い時期に取れるようになったという技術面も関係していますが、家庭排水などによる海水の汚染や大阪湾の魚の減少など、海環境の変化も大きな理由のひとつです。

佐野漁協が漁場とする大阪湾は、近年砂場が減少しセメント水槽化が進んでいるといわれます。産卵場所という大変重要な役割を果たす砂場が無くなっているのですから、稚魚が育ちにくいことは言うまでもありません。最近よう



港での共同入札

やく環境問題が社会の大きな関心事となってきましたが、佐野漁協ではまだまだ社会の関心が薄かった頃から、海環境を悪化させないための取り組みを積極的に行い、行政に対してもさまざまな働きかけを行ってきました。その活動の結果は、条例となって具体化したり、子どもたちの教育に取り入れられたりする形で実を結んできました。今でも佐野漁協の組合員の皆さんは、漁に出る時は船にゴミ袋を積み、魚と同時にゴミも回収しているそうです。大阪湾の環境改善のためには、このような一人ひとりの長年に渡る取り組みが大切になってくるからです。

さて、このように組合員がひとつにまとまる佐野漁業協同組合のチームワークは、船曳き網漁が主流となる以前、昭和41年頃まで基幹漁業であった「巾着網漁」にヒミツがあるようです。巾着網漁とはイワシを獲る漁法であり、20名ほどの組合員を乗せた船が数隻かでチームを組んでイワシを取り囲み、ひとつの大きな網を力を合わせて引き上げます。要するにチームで息を合わせて網を上げなければ成り立たない漁の形なのです。当時、この辺りで巾着網漁を行っていたのは佐野漁協くらいであり、「佐野の巾着」と呼ばれ、非常に有名だったようです。その巾着網漁に使われていた船「日進丸」の名は、いまだに佐野漁協の象徴であり、人々が集まる会館名に使われるなど、地域の人々に親しまれています。巾着網漁で育まれたチームワークは、今、船曳き網漁安定のための環境問題への取り組みとなって生きています。これからも佐野漁協という大きな家族が一丸となり、大阪湾の環境問題への舵取りが続いていくことでしょう。



「巾着網漁」の様子(模型)



### <漁協メモ>

佐野漁業協同組合  
代表理事組合長 仲野 重行  
組合設立日：昭和24年10月1日  
組合員数：正組合員76名/  
准組合員17名/計93名  
漁獲数量：900トン



# 招き TAKUSUI 5May

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財)兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 078-652-3444 FAX 078-671-6685  
URL <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>